



横浜市立

二つ橋小学校

Futatsubashi Elementary School

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/futatsubashi/>

学校だより

2月号

令和6年1月31日

新しい扉

副校長 高野 智彦

1月20日午前0時20分。宇宙航空研究開発機構(JAXA)が打ち上げた月探査機「SLIM(スリム)」が月面着陸に成功しました。9月の朝会で子どもたちにSLIMを搭載したロケットの打ち上げ映像を見せ、「成功すれば1月に着陸するかも知れません。」と伝えていたので、とてもうれしいニュースでした。1月23日の朝会で、SLIMの着陸成功の話をする、全校から拍手が起こりました。

人類が月に到達して55年。日本もようやく月に到達することができました。1月25日にはJAXAによる会見が開かれ、着陸時に撮影された画像が公開されました。目標通りの着陸体勢ではありませんでしたが、地球から遠く離れた月に、ほとんど誤差なく着陸させた日本の技術は世界中から高く評価されました。会見の中でプロジェクトマネージャーの坂井真一郎さんは次のように話していました。「スポーツの世界を見ても、ある人があるレコードを破ると、続け様にみんな記録が伸びることがある。月着陸にもそのようなことが起こるのではないか。今まで誰も行けないと思っていた場所にSLIMが着陸をしてしまったわけだから、今後は(行けるはずがない)と思うことができなくなってしまった。(行けなかったところに行って新しい探査をやってみよう)と思う人が出てくるのではないか。新しい扉を自分たちは開いたのかも知れない。」と。

SLIM打ち上げの話をした9月の朝会では、2年生の国語の学習「あったらいいなこんなもの」で、ある子が考えた「星に行くマシン」を紹介しました。二つ橋小全員が乗れる500人乗りで、わずか10秒で星に行くことができる夢のような機械です。無人の探査機がようやく着陸できた段階ではありますが、これから宇宙技術が目覚ましく発展し、この子の考える夢のような機械が実現する未来もそう遠くないのではないかと思わせる出来事でした。

